

景気動向調査結果

(平成27年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 27 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 27 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、461 社（製造業 245 社（うち面接 65 社）、非製造業 216 社）で、回答率は 65.9 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成27年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いています。

製造業では、回復傾向にある設備投資や堅調な海外需要にけん引され、一般機械、精密を中心に受注、生産が回復しているものの、国内向けの自動車部品など一部には弱さもみられます。また、円安に伴う原材料価格の上昇が続いています。

非製造業では、業況が大きく改善した前回調査時に比べすべての業種で悪化したものの、収益率D Iには改善の動きがみられています。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（26年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 0.4$ となり、前回調査時（27年4月）の1.7より2.1ポイント悪化しました。

3か月前（27年4月）と比較したD Iは $\Delta 3.3$ となり、前回調査時の5.9より9.2ポイント悪化し、2期ぶりのマイナス水準となりました。

なお、3か月後（27年10月）の予想では、D Iは $\Delta 7.1$ と、円安傾向の継続による原材料価格の上昇や中国など海外景気の先行きへの不安感等から、前回予想の0.4から7.5ポイント悪化しました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は弱含んでいますが、スマートフォン向けの需要は一部に服感もみられるものの、堅調に推移しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に受注、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けや産業用途を中心に受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は自動車関連向けや半導体関連向けなどで、一部に弱めの動きもみられるものの、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産が順調に推移しています。建設機械は、国内向けは受注、生産が堅調に推移しています。海外向けは北米や欧州を中心とした需要にけん引され、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は高価格帯製品を中心に受注、生産が順調に推移しています。レンズは、自動車関連向けやプロジェクター向けなどの高付加価値製品の受注、生産が堅調に推移しています。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けなどで受注、生産の回復がみられるほか、LPガスマーターは取替需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、北米などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しているほか、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。酒類は消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注の増加がみられます。飲料は季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に生産が増加しているものの、一部には弱さもみられます。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が31.4%と前回(32.6%)より減少し、「減少」とする企業が30.6%と前回(31.3%)よりやや減少した結果、D Iは前回(1.3)よりやや悪化し、0.8となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が21.0%と前回(28.8%)より減少し、「減少」とする企業が25.5%と前回(18.9%)より増加した結果、D Iは前回(9.9)より悪化し、△4.5となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が16.7%、「減少」とする企業が21.8%となった結果、D Iは前回予想(9.0)より悪化し、△5.1となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が30.0%と前回(31.8%)より減少し、「減少」とする企業が30.9%と前回(33.0%)より減少した結果、D Iは前回(△1.2)とほぼ同じ△0.9となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が23.0%と前回(31.3%)より減少し、「減少」とする企業が23.4%と前回(20.2%)より増加した結果、D Iは前回(11.1)より悪化し、△0.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が18.8%、「減少」とする企業が20.5%となった結果、D Iは前回予想(4.7)より悪化し、△1.7となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が10.7%と前回(12.4%)より減少し、「安い」とする企業が25.2%と前回(24.5%)よりやや増加した結果、D Iは前回(△12.1)より悪化し、△14.5となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が2.5%と前回(3.9%)より減少し、「安い」とする企業が11.9%と前回(12.0%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(△8.1)より悪化し、△9.4となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が4.2%、「安い」とする企業が11.3%となった結果、D Iは前回予想(△4.3)より悪化し、△7.1となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が8.4%と前回(7.1%)より増加し、「苦しい」とする企業が19.0%と前回(17.8%)より増加した結果、D Iは前回(△10.7)とほぼ同じ△10.6となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.3%と前回(6.7%)とほぼ同じとなり、「苦しい」とする企業が11.8%と前回(13.8%)より減少した結果、D Iは前回(△7.1)より改善し、△5.5となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が6.0%、「苦しい」とする企業が16.6%となった結果、D Iは前回予想(△6.6)より悪化し、△10.6となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が前回と同じ18.0%となり、「低下」とする企業が39.3%と前回(39.5%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回(△21.5)とほぼ同じ△21.3となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が11.4%と前回(12.5%)より減少し、「低下」とする企業が26.5%と前回(25.0%)より増加した結果、D Iは前回(△12.5)より悪化し、△15.1となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が9.9%、「低下」とする企業が21.5%となった結果、D Iは前回予想(△11.1)よりやや悪化し、△11.6となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は弱含んでいます。スマートフォン向けの需要は一部に一服感もみられるものの、堅調に推移しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。
- (半導体関連) デジタル家電向けでは、需要の減少により受注、生産の減少が続いているものの、自動車関連向けや産業用途では受注、生産が堅調に推移しています。
- (プリント基板) 情報機器ではスマートフォン向けの一部に、一服感もみられますが、受注、生産が堅調に推移しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部で、海外需要の減少等により、受注、生産に一服感がみられます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、エネルギー関連向けでは受注、生産が減少しています。
- (モーター等) 家電向けの一部では、新興国等での需要にけん引され、受注、生産が堅調に推移しています。産業用途や自動車関連向けでは一部に一服感もみられます。
- (その他) カーナビゲーションは、海外向けでは円安に伴う輸出環境の改善や、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、一部に弱めの動きもみられるものの、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産が順調に推移しています。
- (金型) 自動車関連向けは、新型車向けを中心に受注、生産に持ち直しに向けた動きがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産が堅調に推移しています。海外向けは北米や欧州を中心とした需要にけん引され、受注、生産が増加しています。
- (農業用機械等) 国内向けの一部では季節的要因等により受注、生産が減少しているものの、海外向けでは北米での好調な需要により受注、生産が堅調に推移しています。

精 密 (時 計)	腕時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産が順調に推移しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けやプロジェクター向けなどの高付加価値製品の受注、生産が堅調に推移しています。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けなどで受注、生産の回復がみられます。LPガスマーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	北米などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により3か月前と比べ受注、生産が減少しているほか、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注の増加がみられます。
(飲 料)	季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に生産が増加しているものの、一部には弱さもみられます。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因等により3か月前と比べて受注、生産が減少しているほか、円安の影響などによる収益率の低下がみられます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因等により、青果向けで受注、生産の増加がみられます。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しているほか、季節的要因等により受注、生産が減少しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、業況が大きく改善した前回調査時に比べすべての業種で悪化したものの、収益率D Iには改善の動きがみられています。

前年同期（26年7月）と比較したD Iは $\Delta 21.8$ となり、前回調査時（27年4月）の $\Delta 2.2$ から19.6ポイント悪化しました。

3か月前（27年4月）と比較したD Iは $\Delta 15.8$ となり、前回調査時の $\Delta 3.2$ と比較すると12.6ポイント悪化しました。

なお、3か月後（27年10月）の予想は、D Iは $\Delta 16.9$ と前回調査時の $\Delta 16.2$ と比較すると0.7ポイント悪化する見通しです。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況は、公共工事の受注量の減少により、売上高D Iが低下したことなどから、D Iが $\Delta 34.3$ となり、前回（ $\Delta 12.5$ ）より悪化しました。

3か月後は、同業者間の競争が激しくなっていることに加え、技術者などの人手不足が続いており、業況D Iのさらなる悪化が予想されます。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況は、一部の企業において受注件数D Iや売上高D Iが低下したことなどから、D Iが $\Delta 11.1$ となり、前回（28.6）より悪化したものの、多くの企業では横ばいの判断を示しています。

3か月後は、同業者間の価格競争に加え、大手発注企業の内製化の動きなどが懸念されることから、業況D Iの悪化が予想されます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況は、D Iが $\Delta 23.2$ と前回（ $\Delta 3.4$ ）より悪化しました。

小売業では、消費に対する慎重な姿勢が続いていることなどから、客数D Iの低下から業況D Iも悪化しました。一方、3か月後はプレミアム付商品券を利用した客数増加への期待もあり、業況D Iはマイナス水準ながらも改善する見通しです。

卸売業では、取引先で仕入先を選別する動きなどから、売上高D Iが低下し、それに伴い業況D Iも悪化しています。また、3か月後も仕入価格の上昇を懸念する企業が多く、業況D Iの悪化が予想されます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況は、D Iが $\Delta 5.9$ と前回（5.5）より悪化しました。

飲食業では、人手不足により求人のための募集広告等のコストが増加していることなどから、業況D Iが悪化しました。また、3か月後は、野菜等の仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が困難な状態が続いていることから、業況D Iの悪化が予想されます。

宿泊業では、善光寺御開帳期間の終了後も引き続き、売上高D Iは前年同期を上回る企業が多く、業況D Iはプラス水準を維持しています。3か月後は、祝日の並びが良いことや、宿泊用のふるさと旅行券を利用した観光客増加への期待から、客数D I、売上高D Iは改善する見通しです。

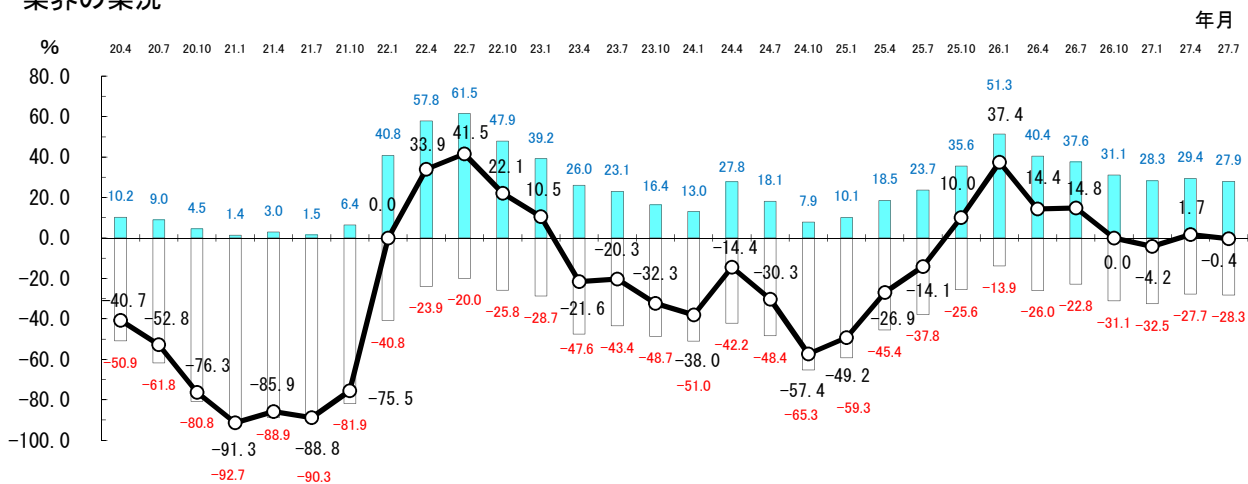
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

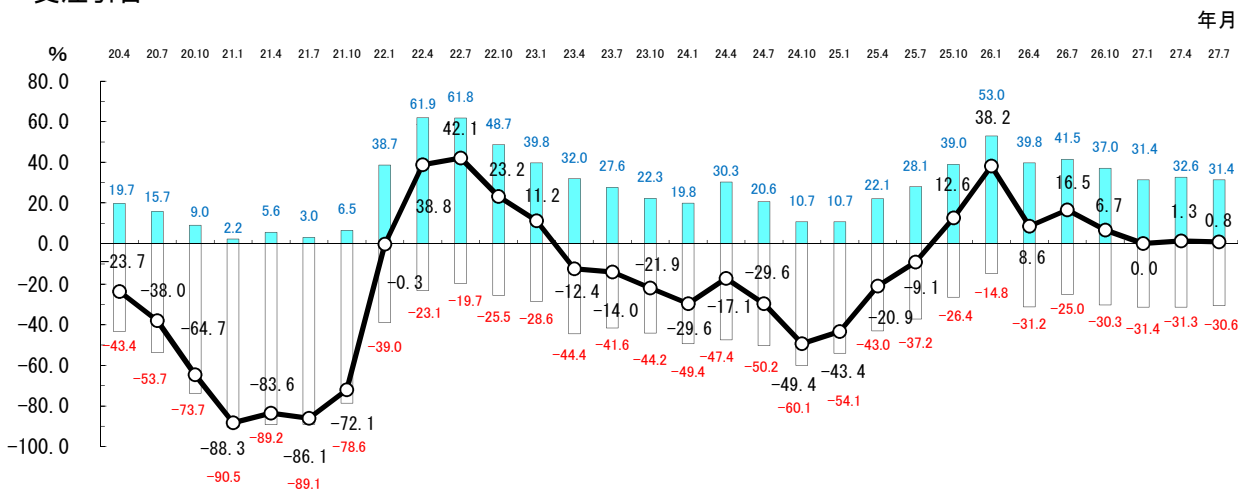
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

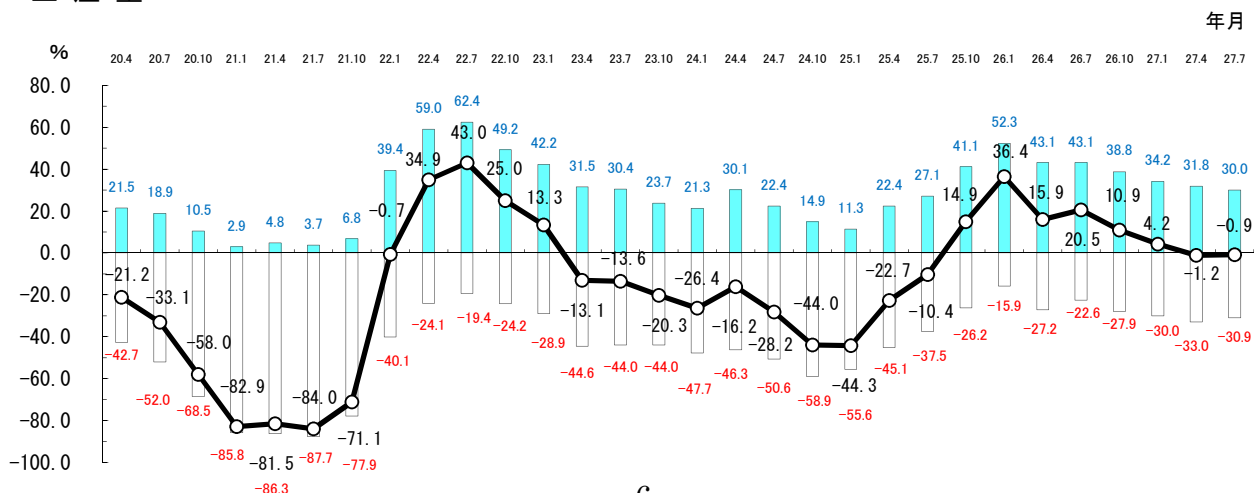
業界の業況



受注引合

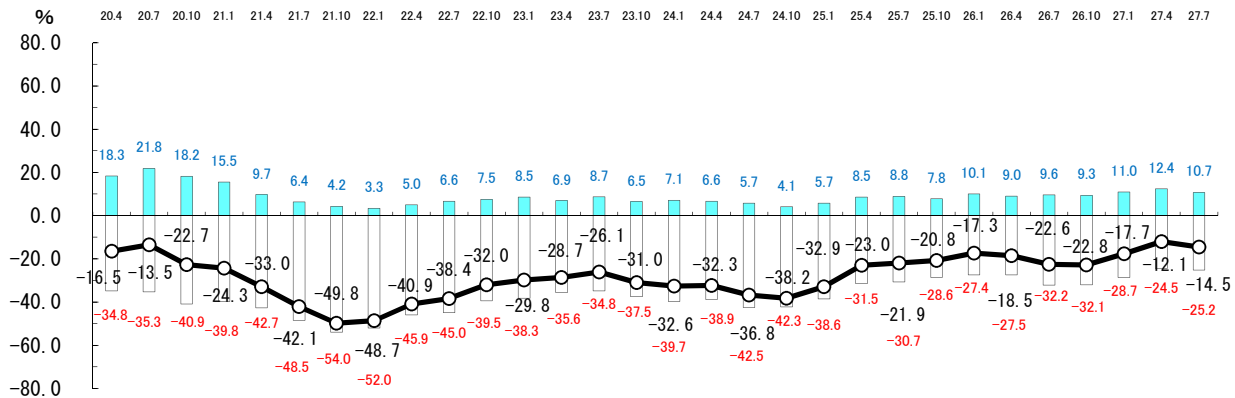


生産量



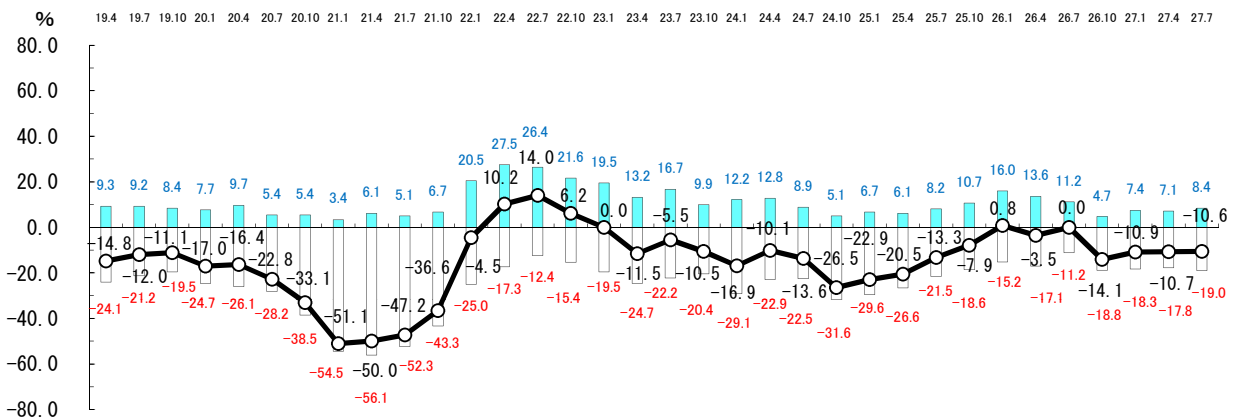
製品販売価格

年月



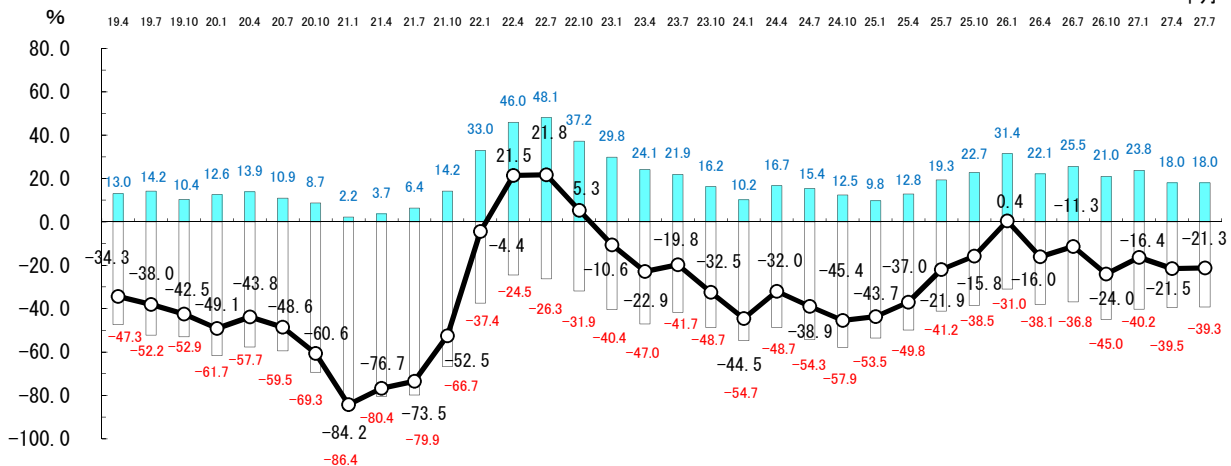
資金繰り

年月



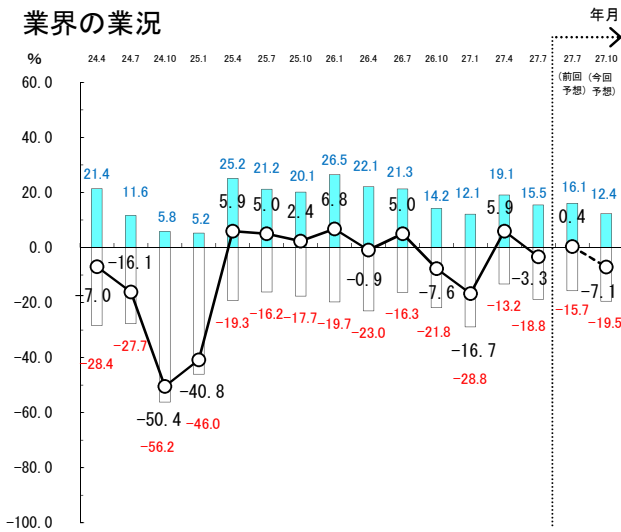
収益率

年月

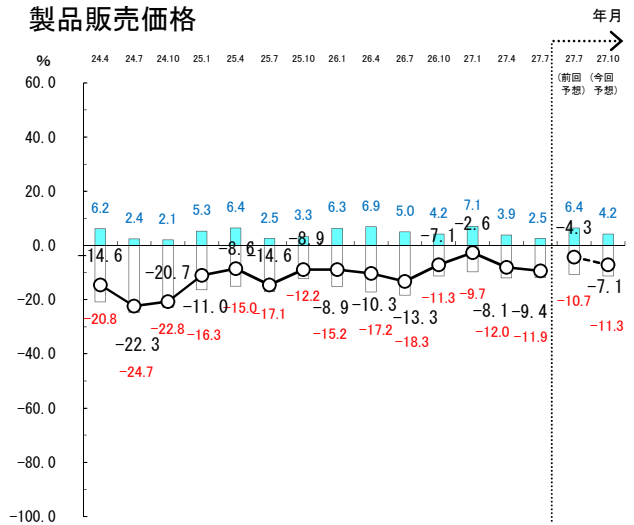


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

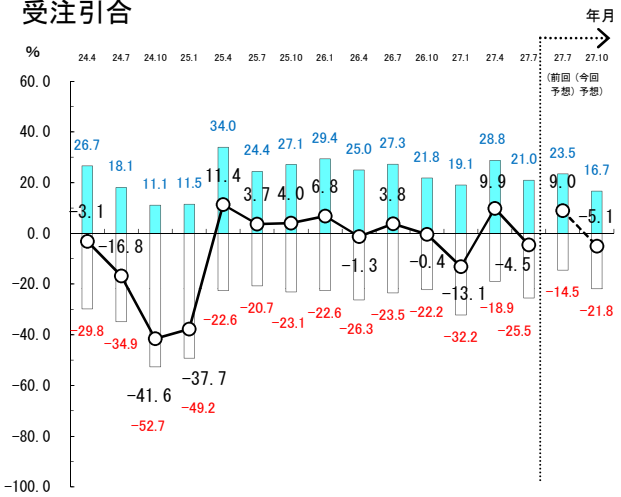
業界の業況



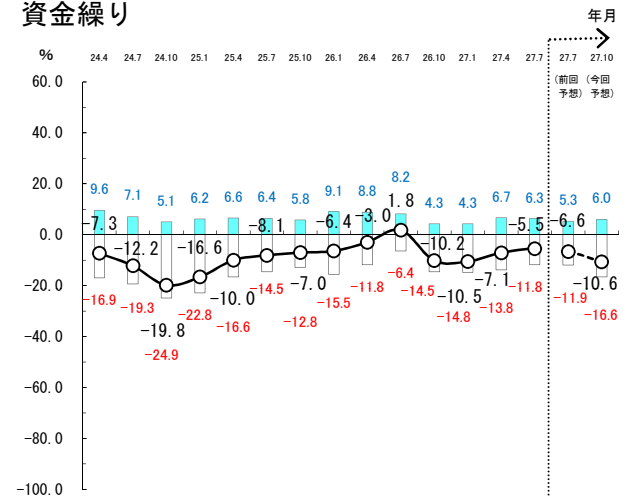
製品販売価格



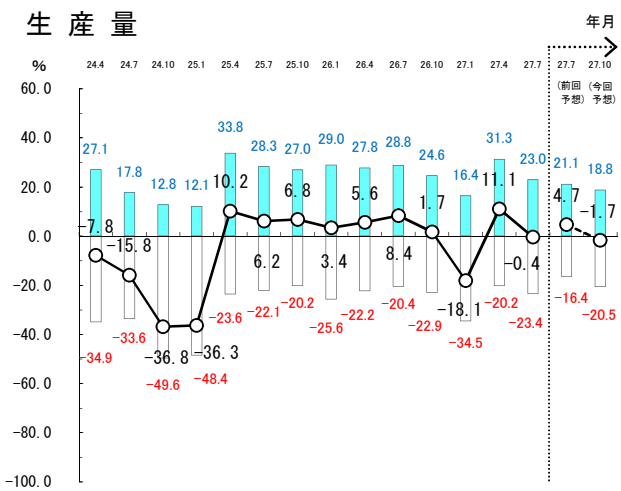
受注引合



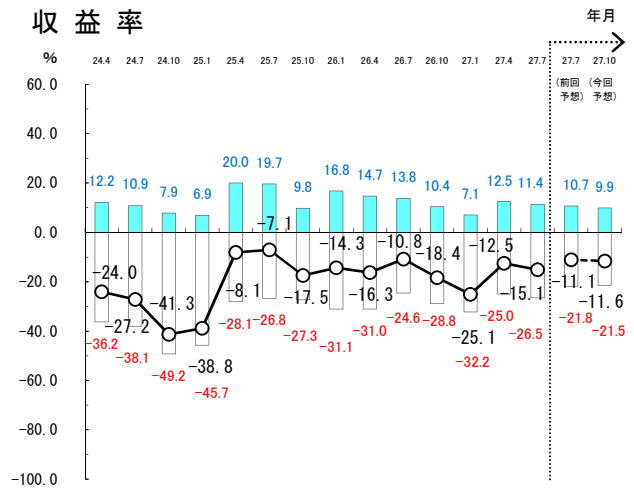
資金繰り



生産量



収益率

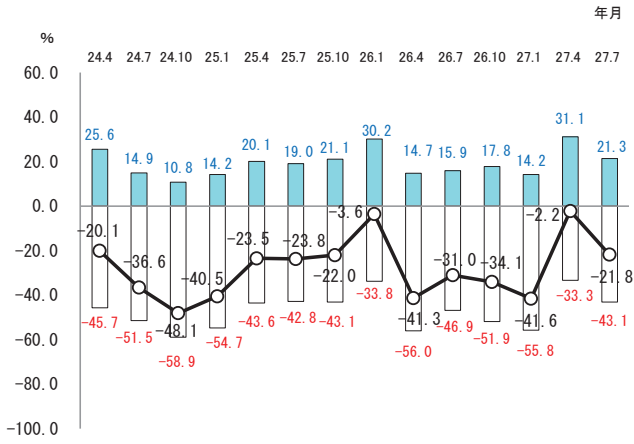


2 非製造業

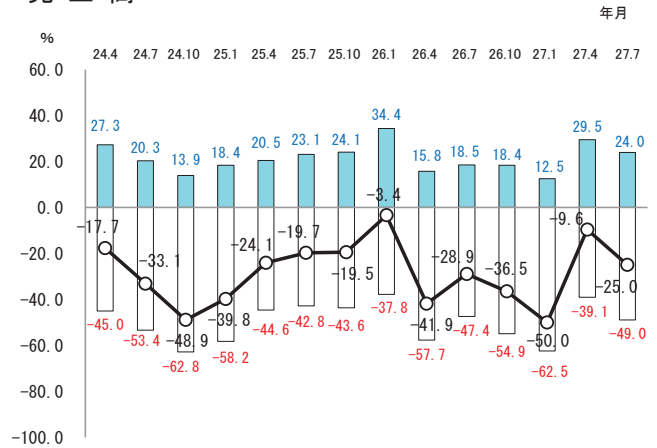
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

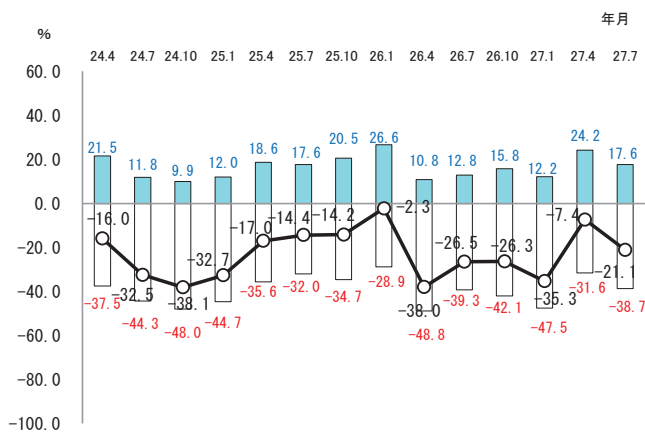
業況



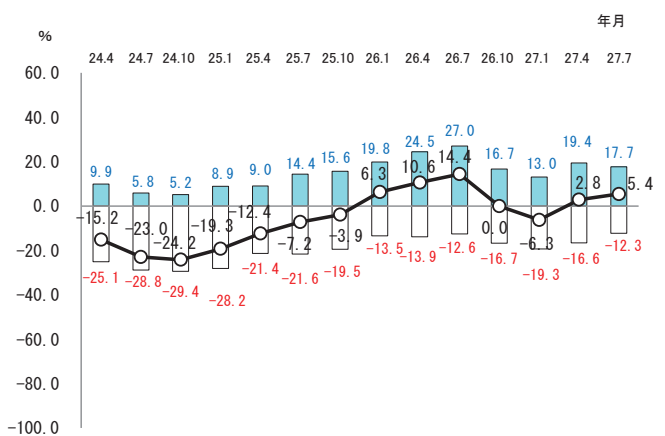
売上高



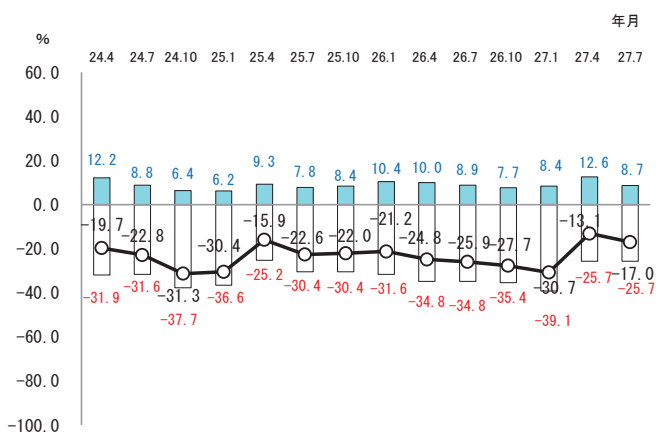
客数 (受注件数)



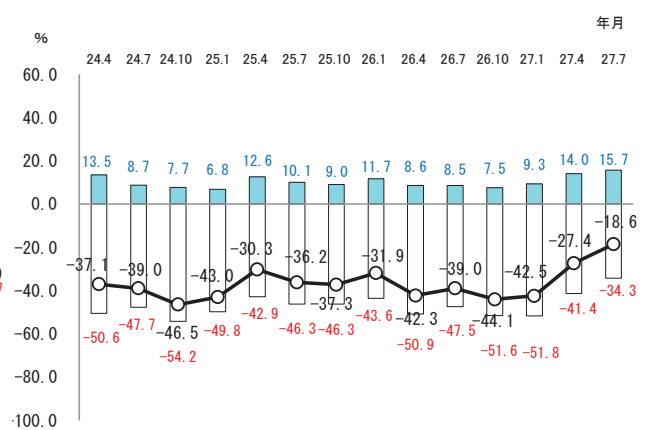
販売価格



資金繰り

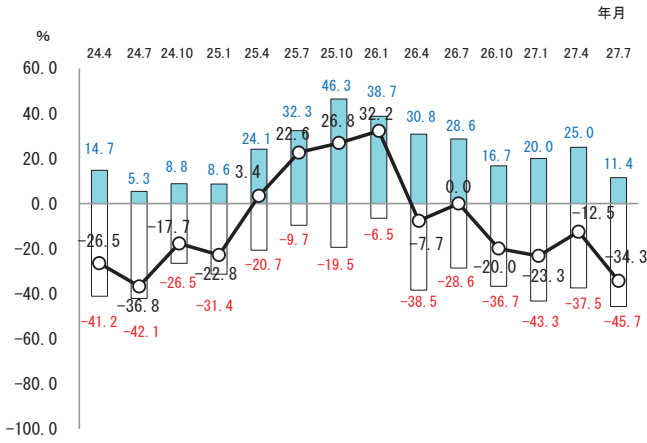


収益率

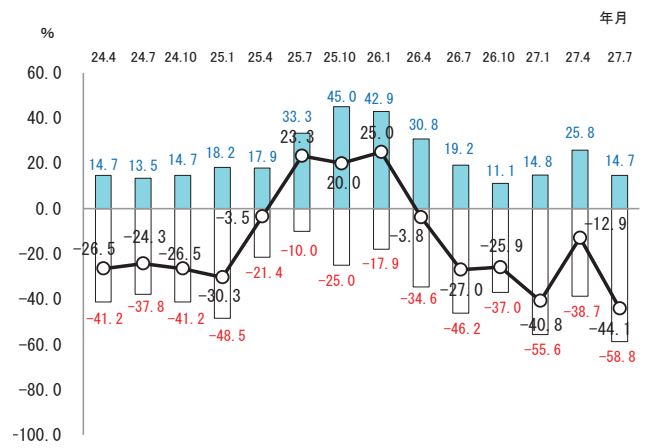


ア 建設業

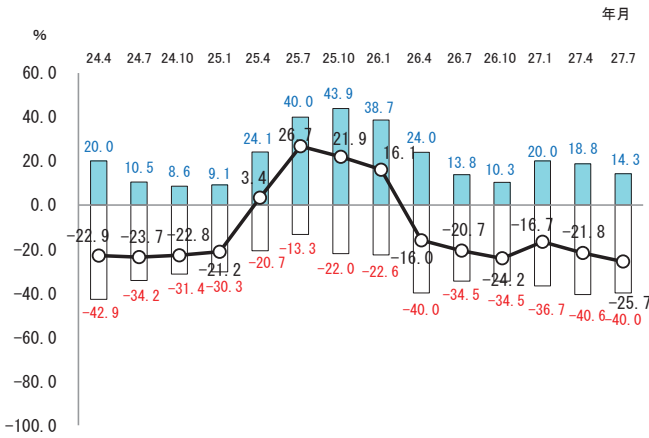
業況



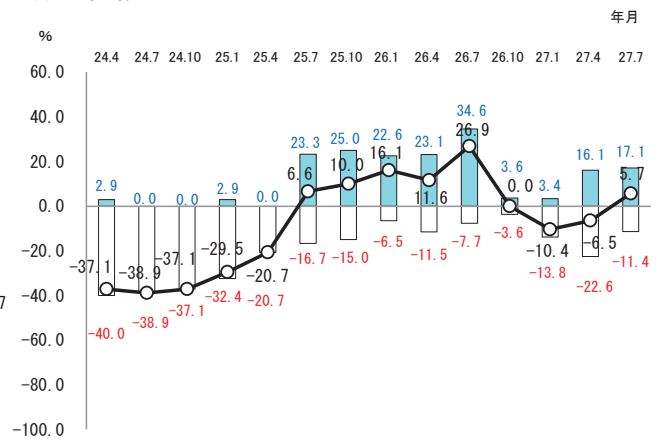
売上高



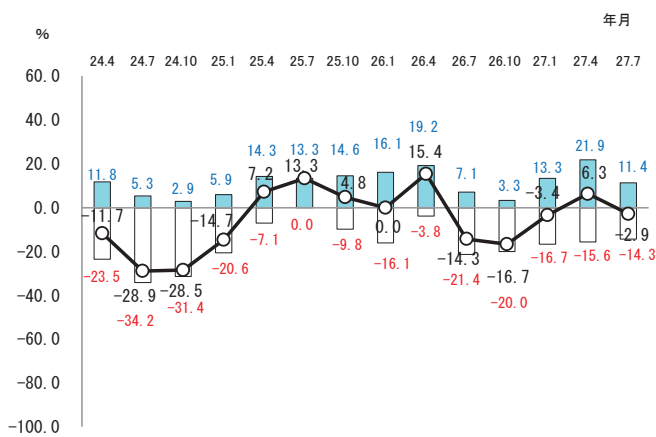
客数 (受案件数)



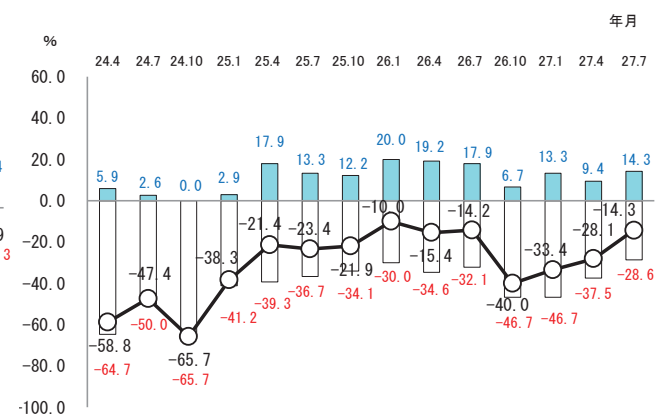
販売価格



資金繰り

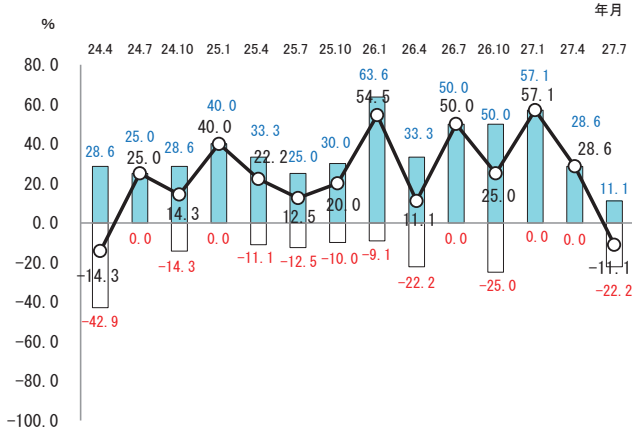


収益率

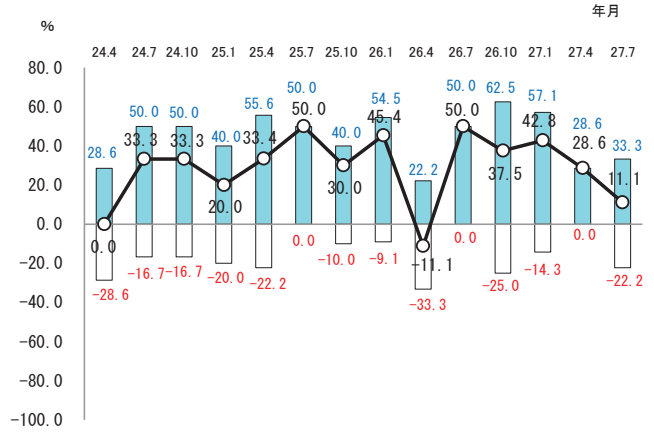


イ 情報サービス業

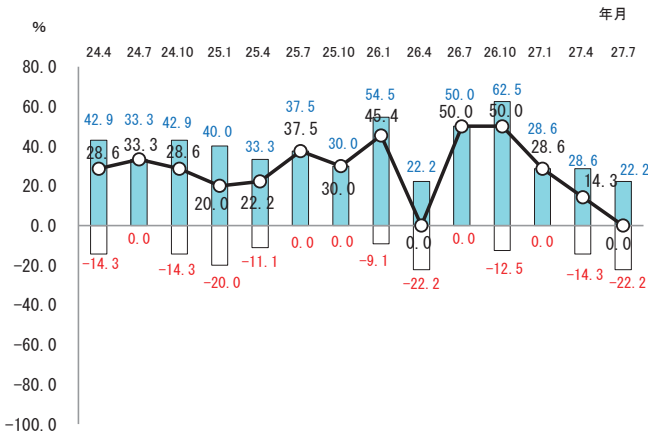
業況



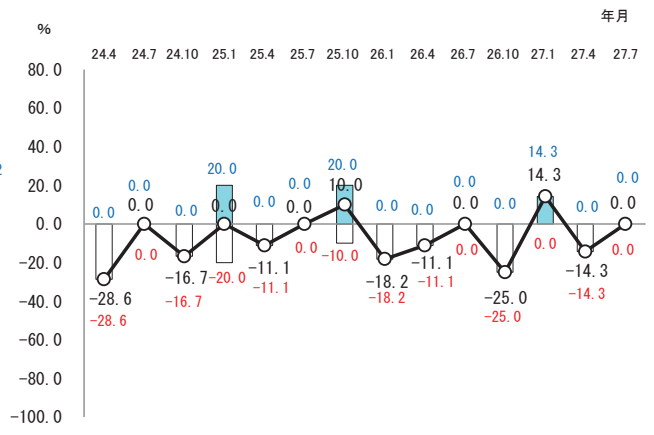
売上高



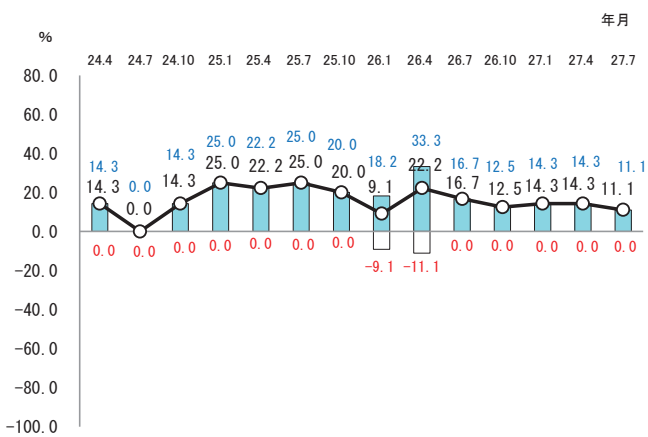
客数 (受注件数)



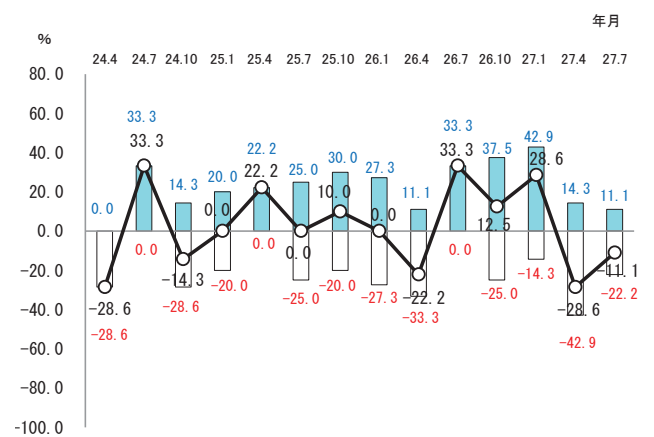
販売価格



資金繰り

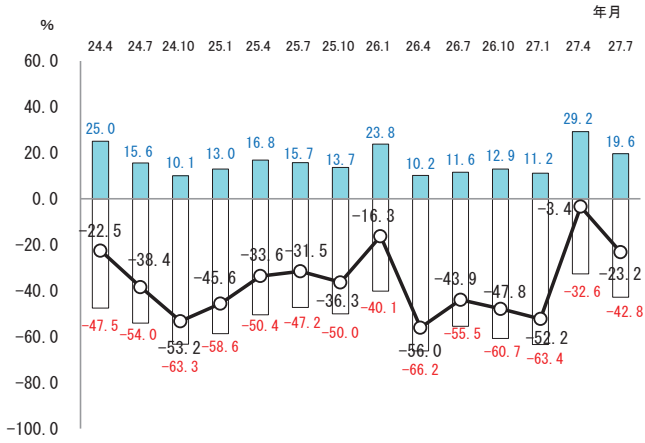


収益率

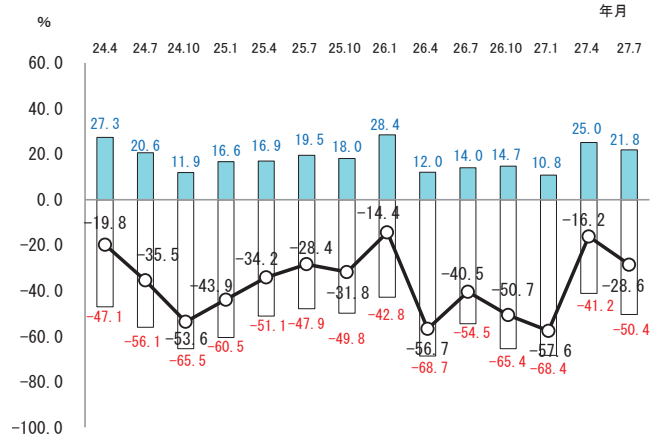


ウ 小売業・卸売業

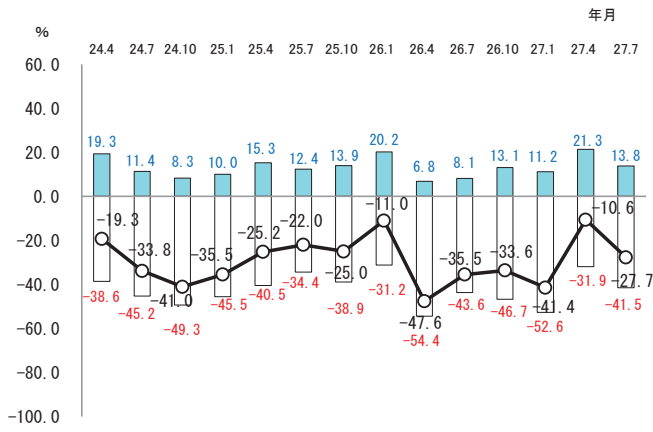
業況



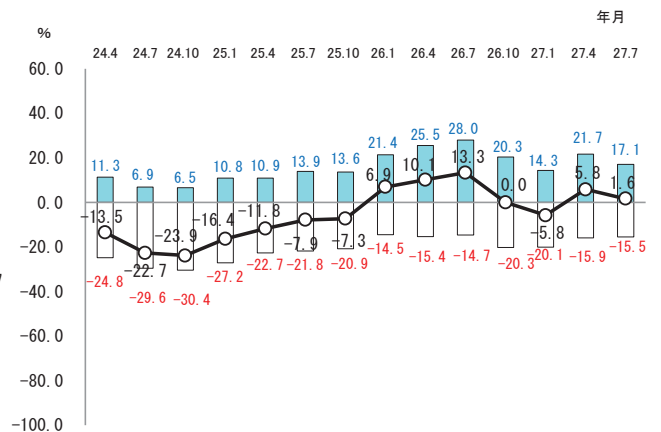
売上高



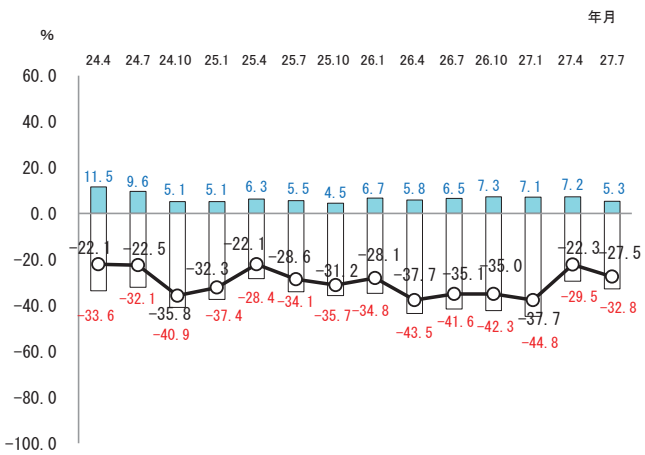
客数 (取引先数)



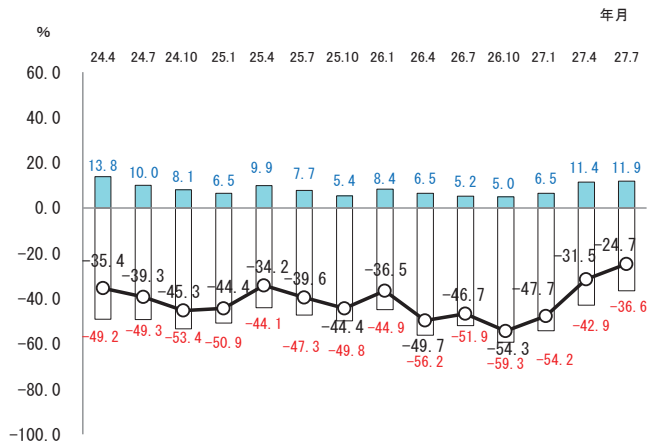
販売価格



資金繰り

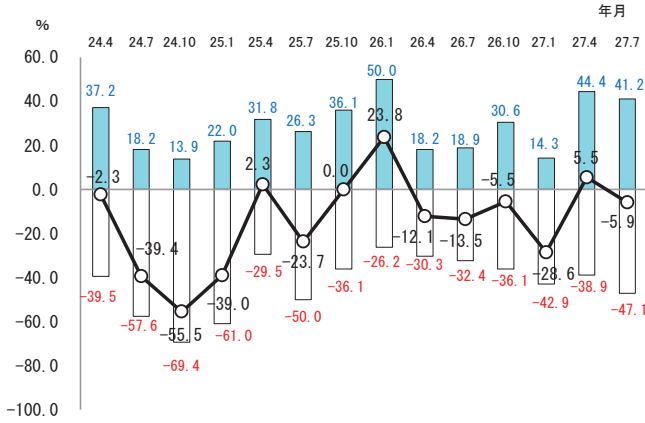


収益率

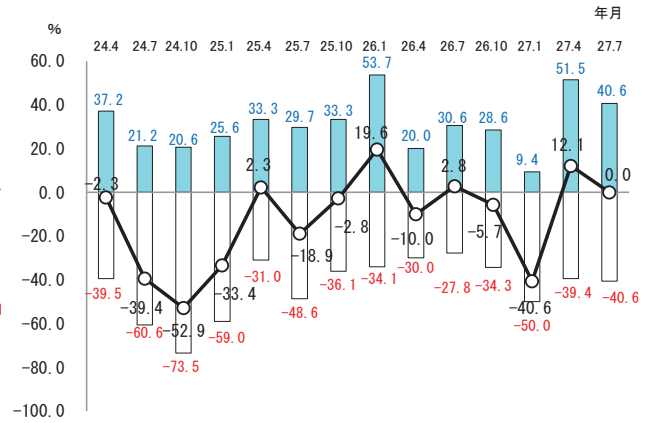


工 飲食業・宿泊業

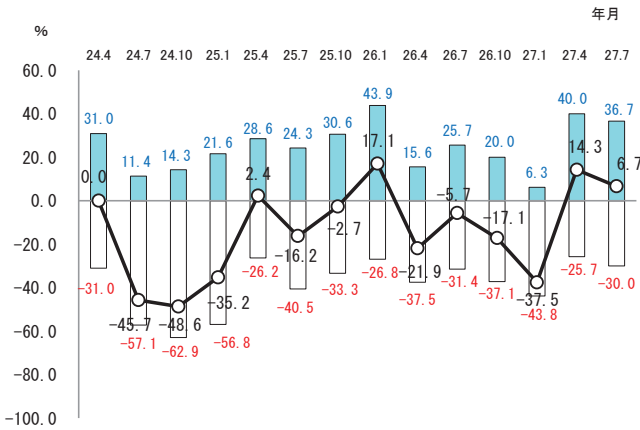
業況



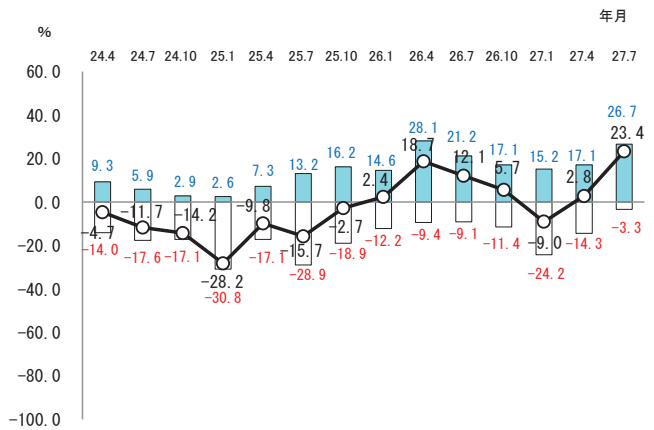
売上高



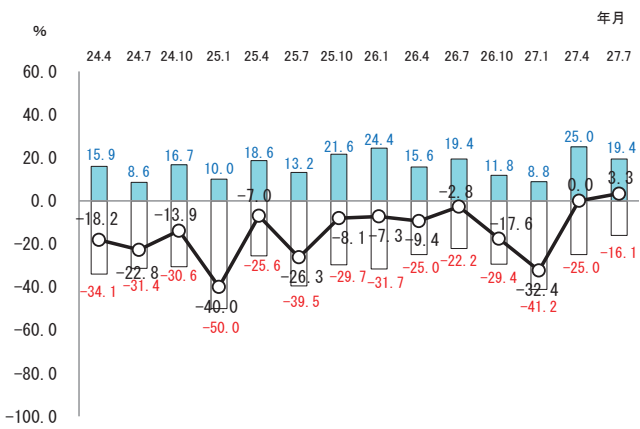
客数



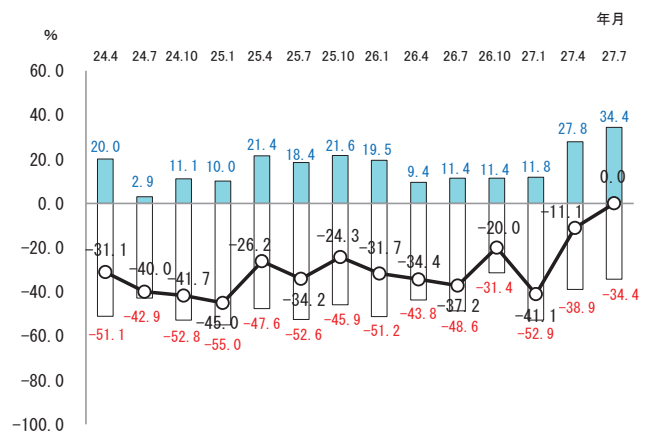
販売価格



資金繰り



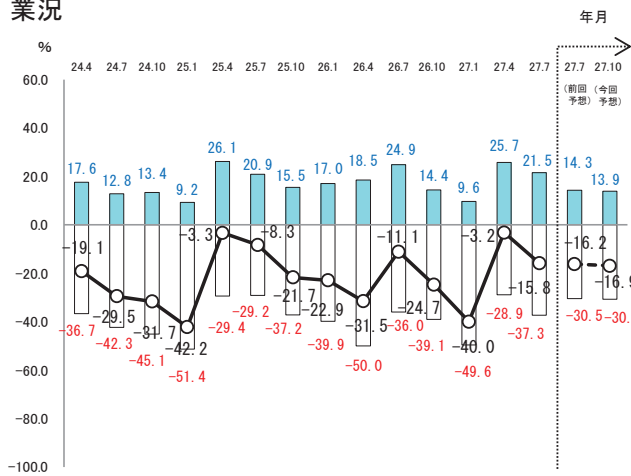
収益率



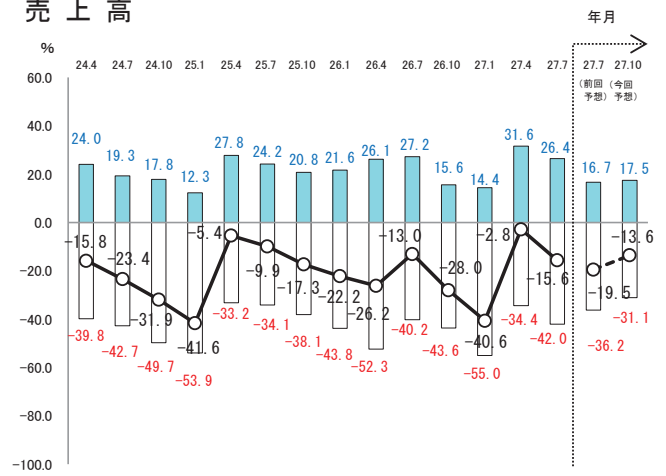
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

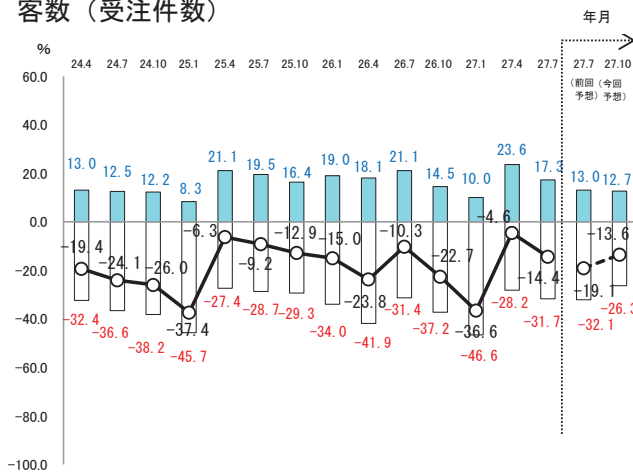
業況



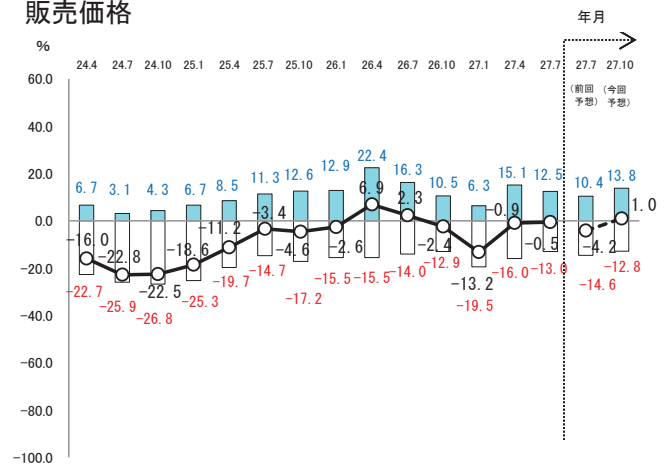
売上高



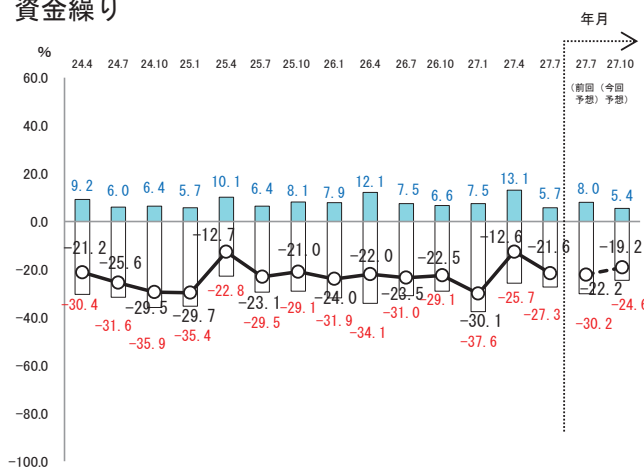
客数 (受注件数)



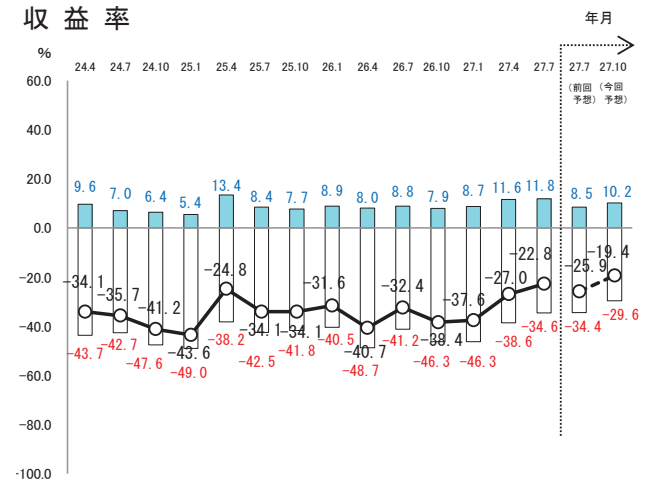
販売価格



資金繰り

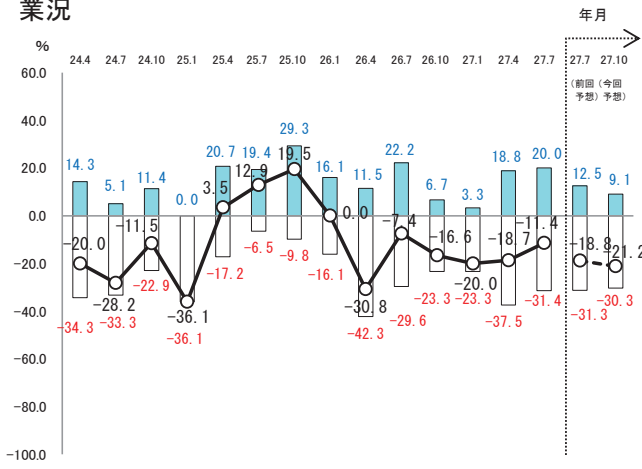


収益率

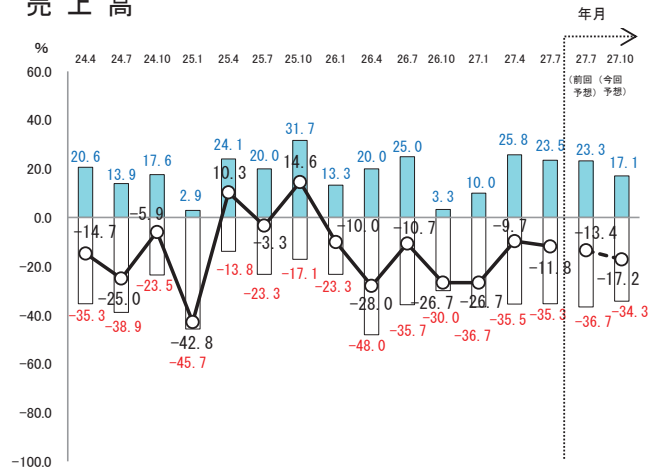


ア 建設業

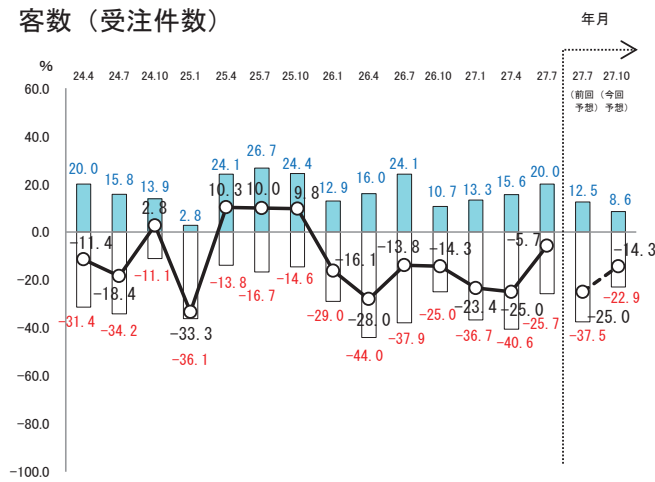
業況



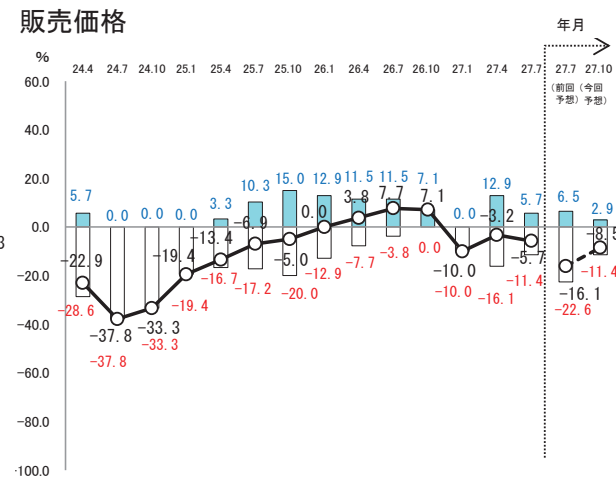
売上高



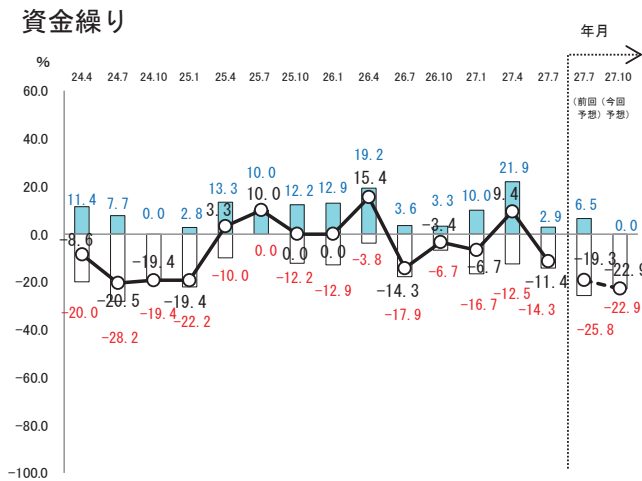
客数 (受注件数)



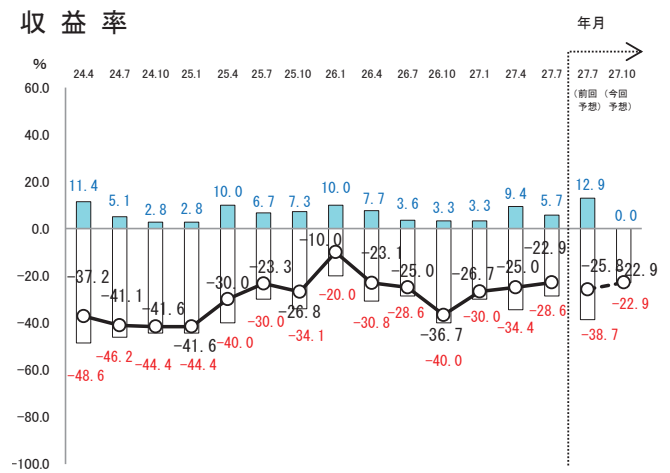
販売価格



資金繰り

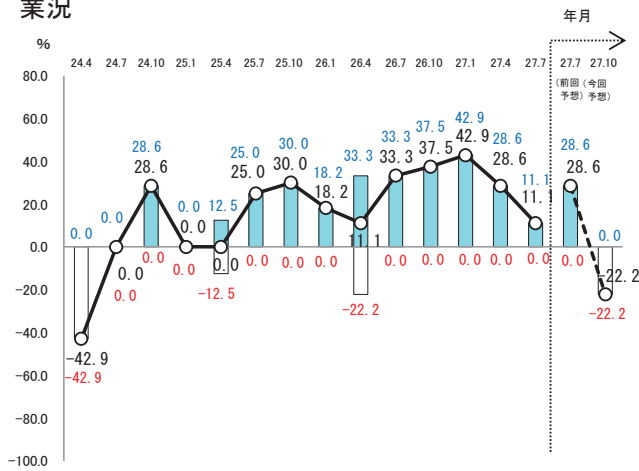


収益率

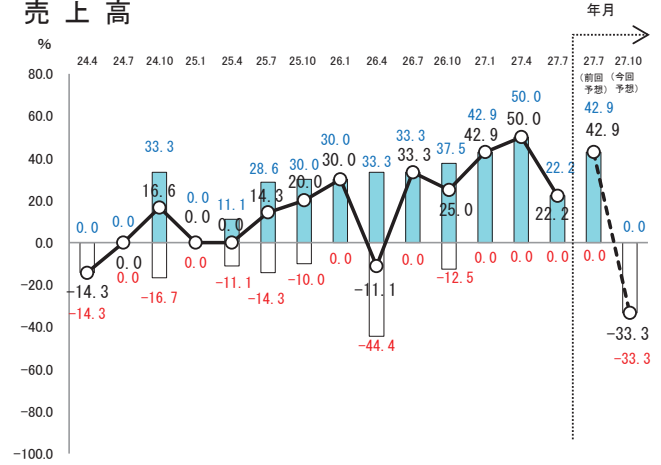


イ 情報サービス業

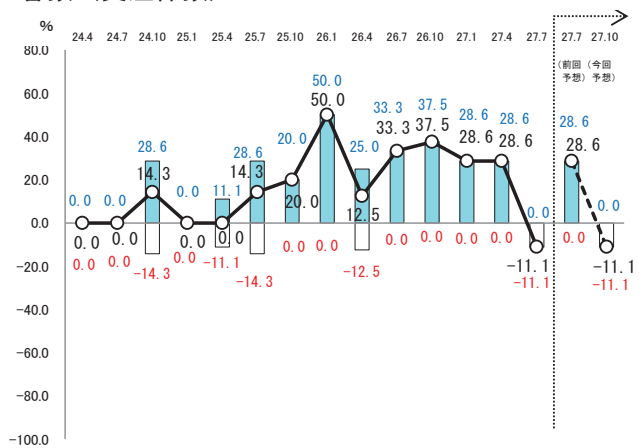
業況



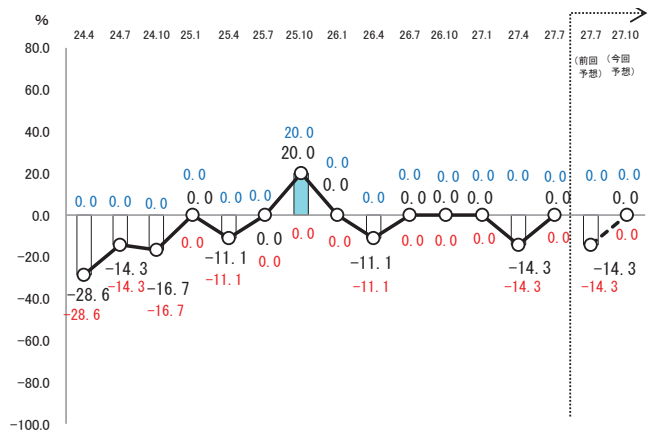
売上高



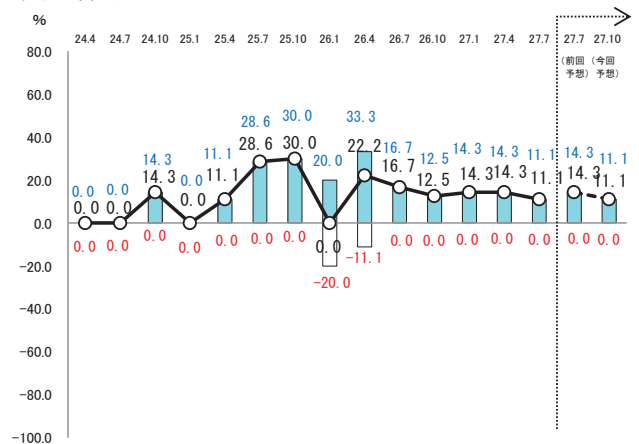
客数 (受注件数)



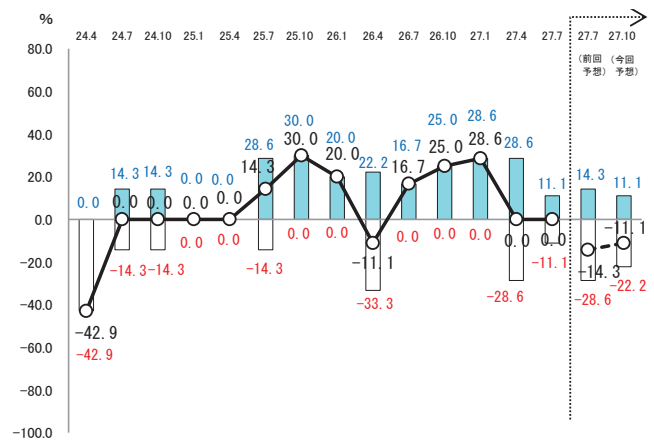
販売価格



資金繰り

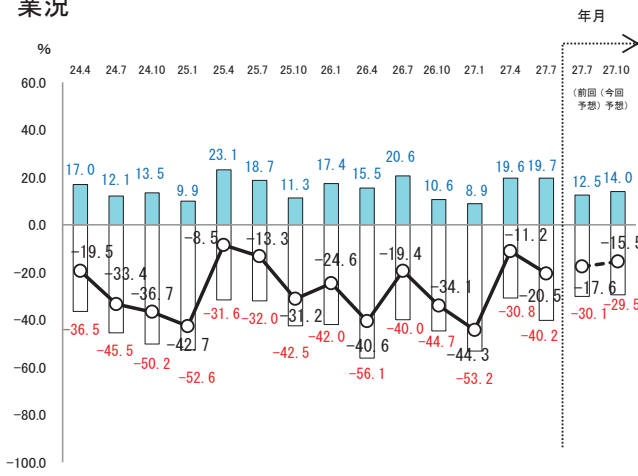


収益率

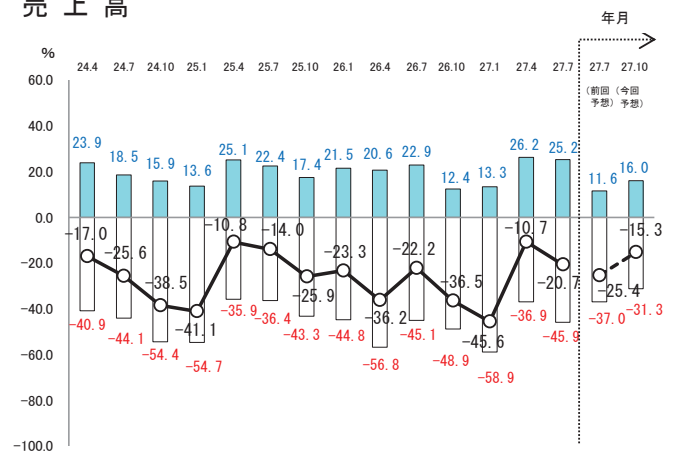


ウ 小売業・卸売業

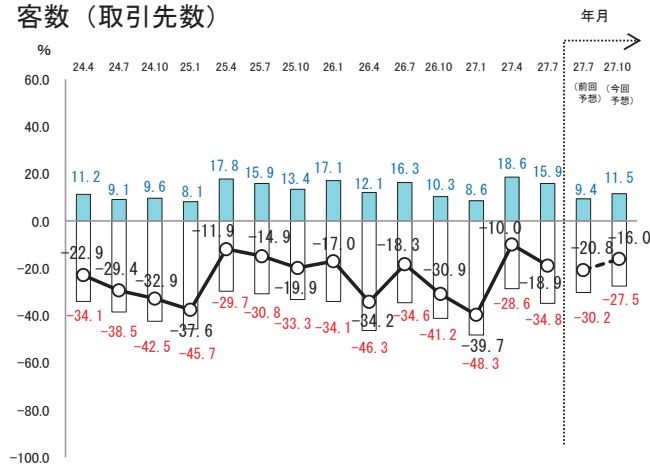
業況



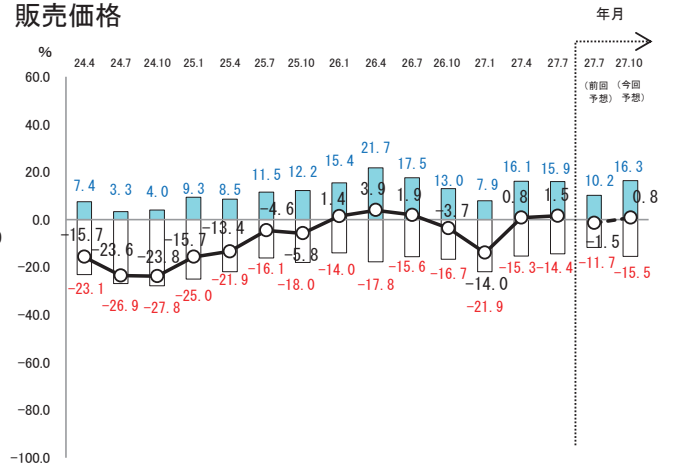
売上高



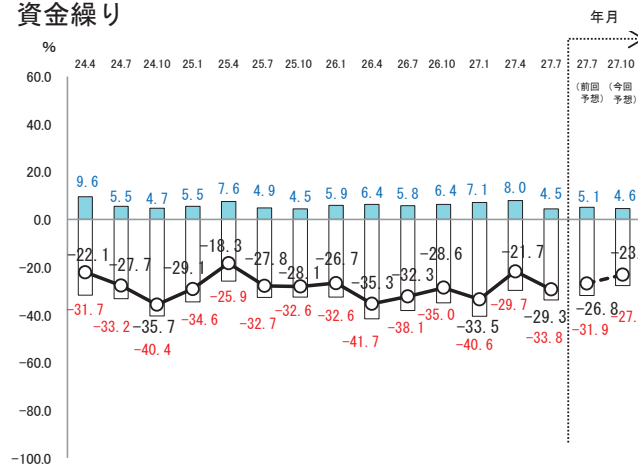
客数 (取引先数)



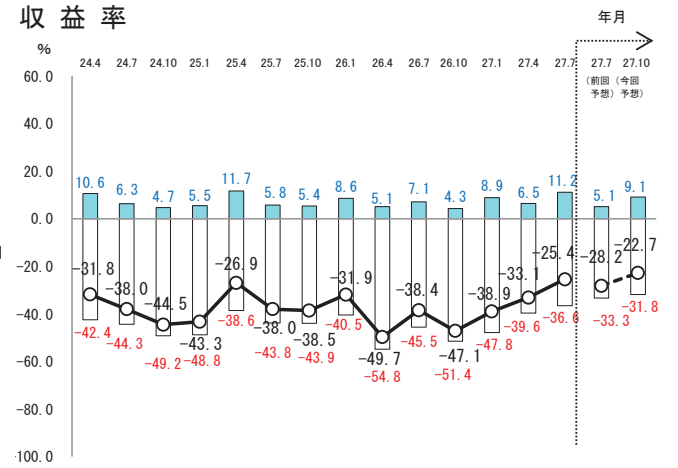
販売価格



資金繰り

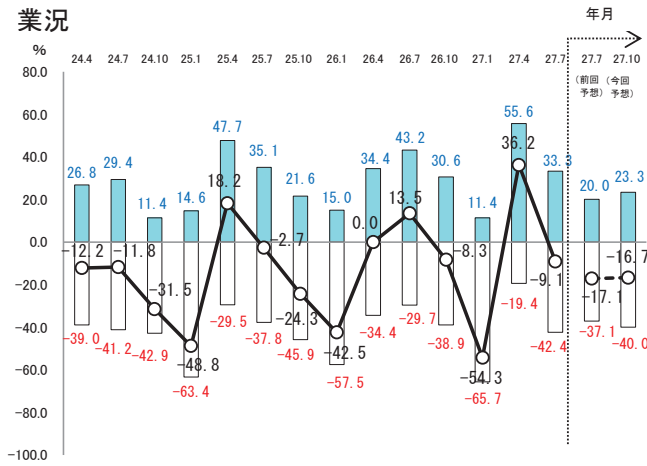


収益率

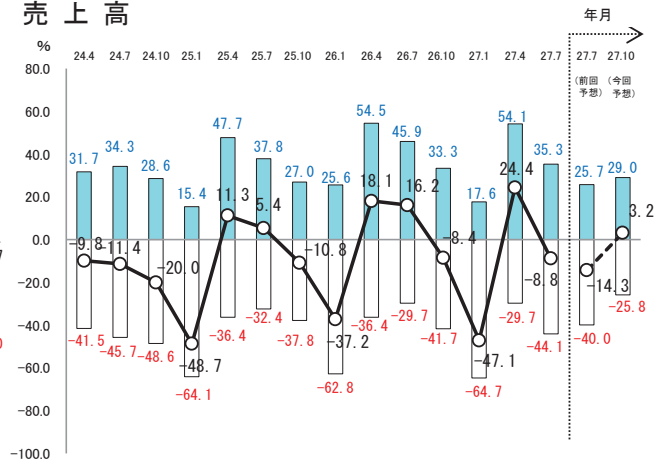


工 飲食業・宿泊業

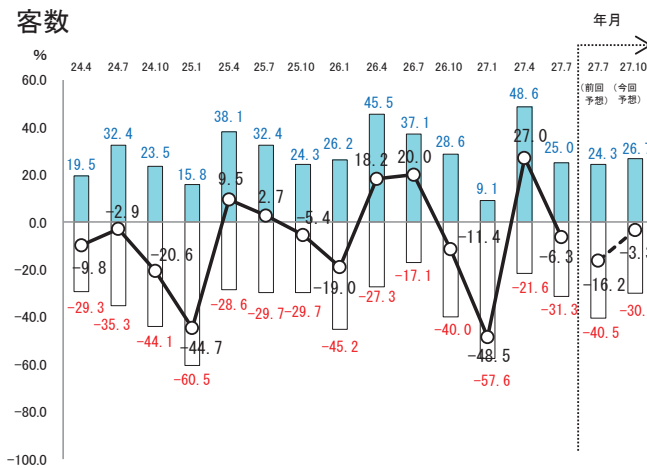
業況



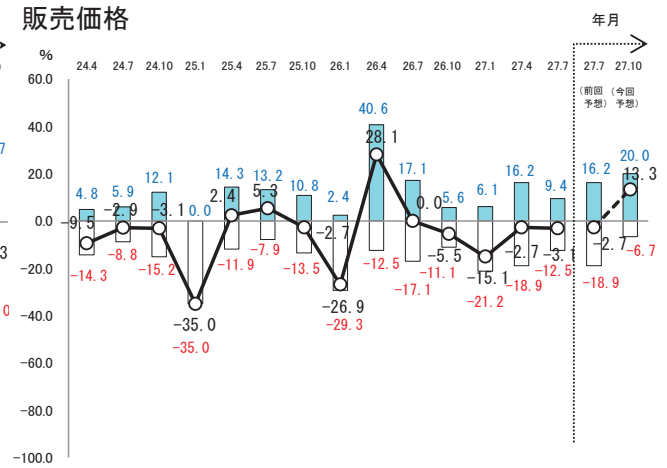
売上高



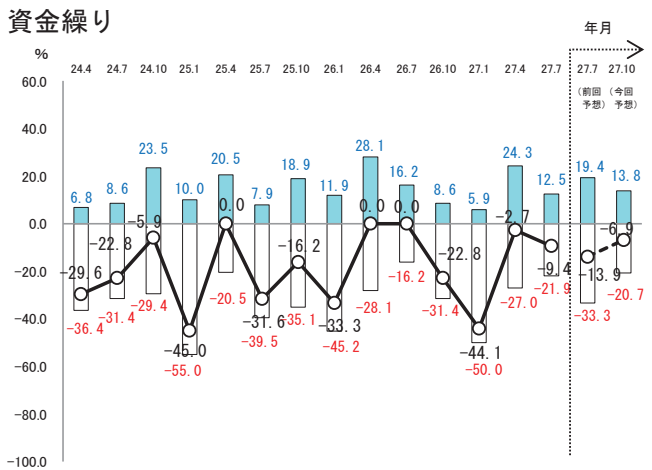
客数



販売価格



資金繰り



収益率

